

電気需要標準化評価原単位の計算誤りの内容

同一の細分類番号をもつ事業場が複数存在する場合、以下のように特定第3表の電気需要標準化評価原単位の計算に誤りが発生します。

指定第2表
事業所1

指定第2表 エネルギー管理指定工場等のエネルギーの使用量及び販売した副生エネルギーの量

エネルギーの種類	単位	2019					
		使用量		販売した副生エネルギーの量		購入した未利用熱の量	
		数値	熱量 GJ	数値	熱量 GJ	数値	熱量 GJ
原油 (コンデンセートを除く.)	k1						
原油のうちのコンデンセート (NGL)	k1						
揮発油	k1						
ナフサ	k1						
灯油	k1						
軽油	k1						
A重油	k1	1,000	39,100	100	3,910		
B・C重油	k1						
石油ガスアスファルト	t						
石油コークス	t						
石油ガス							
液化石油ガス (LPG)	t						
石油系炭化水素ガス	km3						
液化天然ガス (LNG)	t						
その他可燃性天然ガス	km3						
原料炭	t						
一般炭	t						
無煙炭	t						
石炭コークス	t						
コークス	t						
コークス炉ガス	km3						
高炉ガス	km3						
転炉ガス	km3						
その他の燃料	都市ガス	km3	1,000	45,000			
0							
産業用蒸気	GJ	1,000	1,020			1,000	1,020
産業用以外の蒸気	GJ						
温水	GJ						
冷水	GJ		5,120		3,910		1,020
小計			9,700				
電気事業者	夏期・冬期における電気需要標準化時間帯	kWh	(5,000) (h) 49,850				
その他	夜間買電	kWh					
	上記以外の買電	kWh					
	自家発電	kWh					
小計		kWh	10 (1) 39,700	(3) 3,910	(4) 1,020		
合計 GJ			7,750	14,350	3,170	1,020	
原油換算量 k1			(a) 4,768	(b) 101	(b') 20		
前年度原油換算量 k1							
対前年度比 (%)							

特定事業者番号:000000 指定工場番号:3010001 Ver7.5.0

事業場2

指定第2表 エネルギー管理指定工場等のエネルギーの使用量及び販売した副生エネルギーの量

エネルギーの種類	単位	2019					
		使用量		販売した副生エネルギーの量		購入した未利用熱の量	
		数値	熱量 GJ	数値	熱量 GJ	数値	熱量 GJ
原油 (コンデンセートを除く.)	k1						
原油のうちのコンデンセート (NGL)	k1						
揮発油	k1						
ナフサ	k1						
灯油	k1						
軽油	k1						
A重油	k1						
B・C重油	k1	2,000	83,800	200	8,380		
石油ガスアスファルト	t						
石油コークス	t						
石油ガス							
液化石油ガス (LPG)	t						
石油系炭化水素ガス	km3						
液化天然ガス (LNG)	t						
その他可燃性天然ガス	km3						
原料炭	t						
一般炭	t						
無煙炭	t						
石炭コークス	t						
コークス	t						
コークス炉ガス	km3						
高炉ガス	km3						
転炉ガス	km3						
その他の燃料	都市ガス	km3	200	9,000			
0							
産業用蒸気	GJ						
産業用以外の蒸気	GJ	500	680			500	680
温水	GJ						
冷水	GJ						
小計			19,940		8,380		680
電気事業者	夏期・冬期における電気需要標準化時間帯	kWh	(500) (h) 4,985				
その他	夜間買電	kWh					
	上記以外の買電	kWh					
	自家発電	kWh					
小計		kWh	2 (1) 3,940	(3) 3,910	(4) 1,020		
合計 GJ			2,920	14,420	4,280	680	
原油換算量 k1			(a) 2,920	(b) 216	(b') 18		
前年度原油換算量 k1							
対前年度比 (%)							

特定事業者番号:000000 指定工場番号:3010002 Ver7.5.0

特定第3表2

2-1 電気需要標準化評価原単位等

番号	事業分類	事業分類ごとの電気需要標準化評価原単位等の計算										
		エネルギーの使用量 (原油換算量 k1) (a)	電気需要標準化時間帯の電力量 (原油換算量 k1) (b)	販売した副生エネルギーの量 (原油換算量 k1) (c)	購入した未利用熱の量 (原油換算量 k1) (d)	(d')-(1) (a)-(1) × (d)-(1) × (評価係数) (e)	(c)-(1)の構成割合 (%) (e)-(1) (特定第3表1-1の(e)-(1)項) (f)	生産電量又は建物屋頂面積その他のエネルギーの使用量と密接な関係 (g)	電気需要標準化評価原単位 (h)	前年度の電気需要標準化評価原単位 (i)	電気需要標準化評価原単位の対前年度比 (%) (j) = (h)-(1) / (i) × 100	電気需要標準化評価原単位の対前年度比 (%) (k) = (h)-(1) × (g)-(1) × 100
1	工場等に 係る事業 の名称 他に分類されない その他の製造業	7,694	1,415	317	44	7,758	-	15000 (名称:生産数値) (単位: t)	0.5172	-	-	(l)-(1)
2	工場等に 係る事業 の名称 ごみ処分業	55	21	0	0			22024			(m)-(1)	
	事業者全体	(n)-(1)(合計) 7,750	(合計) 1,435	(合計) 317	(合計) 44							

備考 1 エネルギー管理指定工場等及びエネルギー管理指定工場等以外の工場等を事業所1エネルギーの使用に係る原単位等」と同じでなければならない。
2 事業者全体の「電気需要標準化評価原単位 (a)-(1)」の算出が難しい場合は、電気需要標準化評価原単位の対前年度比としてもよい。その際、(k)-(1)。
3 事業者全体の「電気需要標準化評価原単位 (a)-(1)」が算出できる場合は、1)まで記入すること。
4 (e)-(1)の評価係数は1.3とする。

本来であれば、事業場1と事業場2の合算した値を使用するべきところを、「夏期・冬期における電気需要標準化時間帯」の「使用量」においては最後に登録した事業場の値（この例の場合は事業場2の値②）を使用しているため、V7.5版のアプリツールでは下記のような誤った計算結果となる。

$$[(1)の合計 + 事業場2の(2) \times 0.0258(固定値) \times 0.3(固定値) - (3)の合計 - (4)の合計] \div (5)$$

$$[(4768 + 2926) + \{ 4985 \times 0.0258 \times 0.3 \}] - (101 + 216) - (26 + 18) \div 15000 \approx 0.4914$$

正しい計算式は以下の通り

$$[(1)の合計 + (2)の合計 \times 0.0258(固定値) \times 0.3(固定値) - (3)の合計 - (4)の合計] \div (5)$$

$$[(4768 + 2926) + \{ (49850 + 4985) \times 0.0258 \times 0.3 \}] - (101 + 216) - (26 + 18) \div 15000 \approx 0.5172$$